

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.5
Q1 室内環境			0.40					3.4
1 音環境		3.0	0.23	-	-	-	-	3.0
1.1 騒音		-	-	-	-	-	-	-
1 室内騒音レベル		-	-	-	-	-	-	-
2 設備騒音対策		-	-	-	-	-	-	-
1.2 遮音		3.0	0.67	-	-	-	-	-
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	-	-	-	-
2 界壁遮音性能		-	-	-	-	-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	-	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	-	-	-
1.3 吸音		3.0	0.33	-	-	-	-	-
2 温熱環境		3.0	0.44	-	-	-	-	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	-	-	-
1 室温		3.0	0.50	-	-	-	-	-
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	-	-	-
3 外皮性能		3.0	0.17	-	-	-	-	-
4 ゾーン別制御性		3.0	0.33	-	-	-	-	-
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	-	-	-
6 個別制御		-	-	-	-	-	-	-
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-	-	-	-
8 監視システム		-	-	-	-	-	-	-
2.2 湿度制御		3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-	-	-	-
3 光・視環境		-	-	-	-	-	-	-
3.1 昼光利用		-	-	-	-	-	-	-
1 昼光率		-	-	-	-	-	-	-
2 方位別開口		-	-	-	-	-	-	-
3 昼光利用設備		-	-	-	-	-	-	-
3.2 グレア対策		-	-	-	-	-	-	-
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	-	-	-
2 昼光制御		-	-	-	-	-	-	-
3 映り込み対策		-	-	-	-	-	-	-
3.3 照度		-	-	-	-	-	-	-
3.4 照明制御		-	-	-	-	-	-	-
4 空気環境		4.3	0.33	-	-	-	-	4.3
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-	-	-	-
1 化学汚染物質	F の建材や低VOCの建材を、ほぼ全面的に採用している	5.0	1.00	-	-	-	-	-
2 アスベスト対策		-	-	-	-	-	-	-
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	-	-	-
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	-	-	-
4.2 換気		3.5	0.30	-	-	-	-	-
1 換気量	基準法を満たす換気量の1.2倍としている	4.0	0.50	-	-	-	-	-
2 自然換気性能		-	-	-	-	-	-	-
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	-	-	-	-	-
4 給気計画		-	-	-	-	-	-	-
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-	-	-	-
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	-	-	-
2 喫煙の制御	全館禁煙にて喫煙所は建物内部には設置しない	5.0	0.50	-	-	-	-	-
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	-	-	4.0
1 機能性		4.7	0.40	-	-	-	-	4.7
1.1 機能性・使いやすさ		5.0	0.40	-	-	-	-	-
1 広さ・収納性		-	-	-	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-	-	-	-
3 バリアフリー計画	誘導基準の規定以上のバリアフリー配慮(廊下手摺、点字ブロック等)	5.0	1.00	-	-	-	-	-
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30	-	-	-	-	-
1 広さ感・景観		-	-	-	-	-	-	-
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	-	-	-
3 内装計画	建物コンセプト、機能の明確化、事前検討、照明と内装の一体化	5.0	1.00	-	-	-	-	-
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い床材ビニル床シートの採用等	4.0	0.50	-	-	-	-	-
2 維持管理用機能の確保	専用のSKを設置している。PS等廊下から維持管理作業が可能	4.0	0.50	-	-	-	-	-
3 衛生管理業務		-	-	-	-	-	-	-
2 耐用性・信頼性		3.8	0.31	-	-	-	-	3.8
2.1 耐震・免震		3.8	0.48	-	-	-	-	-
1 耐震性	必要保有水平耐力の割増率は重要度係数を1.25としている	4.0	0.80	-	-	-	-	-
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数		4.0	0.33	-	-	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数	住宅の品質確保の促進に関する法律におけるコンクリートの評価基準等級3相当	5.0	0.23	-	-	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	集会室:床長尺塩ビシート(セルフレリック材)壁ビニルクロス(PBt12.5)天井ロックール化粧吸音板t9(PBt9.5)	5.0	0.09	-	-	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	必要に応じてガルバ、SUSダクトを使用	5.0	0.08	-	-	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:VLP(B)、汚水排水及び雑排水:VP(B)、Eは不使用	5.0	0.15	-	-	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	-	-	-

2.4 信頼性			3.8	0.19			
1	空調・換気設備	災害時、重要度の高い系統を優先して運転	4.0	0.20			
2	給排水・衛生設備	節水型機器の便器を採用	4.0	0.20			
3	電気設備	地下への浸水防止措置(防水板)を設置し、自家発電設備を屋上に設置している	4.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備	メタルケーブルにて電話引込み、光ケーブルにて光情報を引込み精密通信機器の地下設置を回避している	4.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.3	0.29			3.3
3.1 空間のゆとり			4.0	0.31			
1	階高のゆとり						
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.18	4.0	1.00			
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31			
3.3 設備の更新性			3.0	0.38			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		3.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース		3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30			3.1
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30			3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30			3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	建物外部の夜間照明等、防犯性の配慮を行った	4.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-			3.8
LR1 エネルギー			-	0.40			4.2
1 建物の熱負荷抑制		PAL=455MJ/年㎡	5.0	0.30			5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20			3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		LED照明の採用	5.0	0.30			5.0
		集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	5.0				
		集合住宅の評価					
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			3.9
1 水資源保護			3.4	0.15			3.4
1.1	節水	節水型機器の便器及び自閉式水栓を採用	4.0	0.40			
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.63			3.8
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	タイル(床)、壁紙(壁)、ビニール床材(床)	5.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05			
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み	躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用し、OAフロアを用いている	5.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.3	0.22			4.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	PRTR法の退出物質を含有しない建材種別が4つ以上	5.0	0.32			
3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.68			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつGWPが低い発泡剤を用いた断熱材を使用	5.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			-	0.30			3.4
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出量=70%	4.1	0.33			4.1
2 地域環境への配慮			3.0	0.33			3.0
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25			
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制	駐輪場(51台及びバイク6台)、駐車場(22台及びマイクロバス1台)、管理用車両用の駐車施設(2台)及び周辺道路の渋滞緩和に資する待機スペースを確保している	5.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動		-	-			
3	悪臭		-	-			
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制		3.0	-			
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			4.4	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインチェックリスト過半を満たし広告物照明は行っていない	5.0	0.70			
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			